



## 実工学教育の体験を！

### AI に負けない資質を磨く

—日本工業大学の高大連携プロジェクトを  
ご活用ください—

学長 成田 健一

これから日本は人口減少の時代を迎え、労働人口も大幅に不足すると予測されています。すでに一部の企業では、人材が確保できない状況となっており、就職活動も学生優位の売り手市場が続いています。しかし、今の高校生が大学を出て社会に出ることになる5年ほど先には、人工知能（AI）の普及で、仕組み化された中で論理的・分析的に処理できる作業は、基本的にITシステムで代替されるようになります。AIにはできない能力を身に付けて社会に出なければ、職業を選べなくなりますし、もう一生同じ仕事を続けるという生き方は、標準的ではなくなるかもしれません。

このような激動の時代にも、社会の変化に対応できる人材を育成するため、「学生一人ひとりを実に成長させ、全員にしっかりと付加価値をつけて社会に送り出す」というのが、日本工業大学が目指す実工学教育です。

高大連携プロジェクトの「出前授業」では、最先端の科学や次世代をなう技術を研究している本学の教員が、皆様の高校等を訪問し、具体的に社会に貢献する姿を通して、生徒さんに工学を学ぶ面白さを伝えようと工夫しています。また「研究室インターンシップ」では、高校生の皆さんに本学が誇る充実した実験施設を体験して頂き、研究の面白さを実感してもらいたいと思っています。

大学での学びの一端に触れ、高校生たちの様々な疑問にも答える「高大連携プロジェクト」を、是非ともご活用ください。